

第3号（報告事項）

平成25年度事業計画及び平成25年度収支予算

平成25年度事業計画

方針

我が国の経済は長く続いたデフレからの脱却に向けて、金融緩和策や積極的な財政支出等景気浮揚政策の展開により経済の好転が期待されている。しかし、人口の減少、高齢化社会が進む中、鶏卵・鶏肉の大幅な需要が見込める状態になく鶏卵・鶏肉の生産及び素ひなの生産環境はコストの大部分を占める配合飼料価格の高騰、為替の円安傾向も伴い、現在も高止まり状況が続いており、種鶏ふ卵業においても厳しい経営環境の中で、経営体質の強化が重要な課題となっている。

鳥インフルエンザについては、昨年度は国内での発生は見られなかったが、近隣の国々においてたびたび発生しており、高病原性・低病原性鳥インフルエンザ防疫指針及び飼養衛生管理基準に沿い、国内防疫の徹底について強く求められており、本会としても引き続き鶏病予防の徹底を図るなど種鶏ふ卵の衛生管理技術の向上に取り組む。

また、鶏卵・鶏肉生産の需給安定の指標となる素ひな生産見込み等について、種鶏導入調査を引き続き実施するとともに、素ひなふ化羽数及び素ひなのえ付け動向を把握し公表する等情報提供に取り組む。

以下、平成25年度の主な事業は次の通り。

I 公益目的事業

1 種鶏導入調査事業（自主財源）

レイヤー及びブロイラー素ひな計画生産事業

養鶏産業の安定は、鶏卵・鶏肉の良好な需給関係の維持が基本であり、このため種鶏ふ卵業界は、素ひなの適正需要に対応して高性能かつ清浄な安心できる素ひなを安定的に供給する重要な役割を担っている。

このため、種鶏の計画的生産・導入を行うことによって「素ひなの計画生産」を推進するために、レイヤー、ブロイラーとも年2回の種鶏導入計画調査を会員等の協力によって実施し、これをもとに「素ひな計画生産検討会」を年2回開催し、種鶏導入羽数及び素ひなの生産見込み等を検討し公表する。

2 鶏ひなふ化羽数調査事業（種鶏安定供給情報提供等事業）（JRA・自主財源）

「鶏ひなふ化羽数データ収集調査」を引き続き本会で実施し、農林水産省動物検疫所発表の「輸入初生ひなの輸入実績」など関係統計の速報値と併せて、鶏ひなのえ付け羽数等を迅速に伝達するとともに、ホームページを活用し広く養鶏関係者に公表する。

3 鶏卵・鶏肉の消費促進事業（自主財源）

(1) 鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業（(社) 日本養鶏協会）

(社) 日本養鶏協会が実施する「鳥インフルエンザ対策・鶏卵消費促進事業」について、レイヤー会員からの拠出金（組織強化費から充当）を負担金として拠出して協力。

(2) 全国鶏肉促進協議会に対して協力負担金を拠出して協力。

全国鶏肉消費促進協議会（事務局：(一社) 日本食鳥協会）

主な事業：国産チキン祭りへの後援及び助成

構成団体：(協) 日本飼料工業会、全国農業協同組合連合会、(社) 日本養鶏協会、(一社) 日本種鶏孵卵協会、(一社) 日本食鳥協会

4 種鶏安定供給情報提供等事業（JRA・自主財源）

(1) 鶏ひなふ化・え付け羽数調査

鶏ひなふ化・え付け羽数の調査は鶏卵・鶏肉の生産上重要な指標として広く活用され、鶏卵・鶏肉の安定供給を図るため引き続き調査を実施する。

(2) 初生びな雌雄鑑別競技会及び研究会の開催（(公社) 畜産技術協会委託事業）

初生びな雌雄鑑別競技会の開催を通じて鑑別技術の向上を図るため引き続き実施する。

Ⅱ 種鶏孵卵経営対策事業（自主財源事業）

1 種鶏・ふ卵経営セミナー事業

わが国の畜産・養鶏産業は国際化に対応した生産・流通体系の確立が求められており、これら業界の変化に対応して種鶏孵卵業の独自性を保ちつつ変革の激しい養鶏産業において種鶏孵卵業の位置付けを明確にしなが、種鶏孵卵経営対策として全国規模の経営セミナーの開催及び各部会、地域協議会活動の充実を図る。

2 地域協議会・各部会等組織強化対策事業

3 平成25年度定時総会・理事会等の開催

○平成25年度 第1回理事会

開催日：平成25年5月8日（水）

場 所：馬事畜産会館会議室

○第38回定時総会

開催日：平成25年6月13日（木）

場 所：馬事畜産会館会議室

平成25年度収支予算書総括表(案)

平成25年度4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	15,670			15,670
受取補助金		3,280		3,280
受取負担金	645			645
雑収益	51			51
他会計からの繰入額	210	216	△ 426	0
経常収益計	16,576	3,496	△ 426	19,646
(2) 経常費用				
事業費	9,410	3,286		12,696
協会事業費	9,200			9,200
種鶏安定供給情報提供等事業費	210	3,286		3,496
管理費	8,800			8,800
人件費	2,968			2,968
事務費	5,832			5,832
他会計への繰出額	216	210	△ 426	0
経常費用計	18,426	3,496	△ 426	21,496
当期経常増減額	△ 1,850	0	0	△ 1,850
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,850	0		△ 1,850
一般正味財産期首残高	3,836	0		3,836
一般正味財産期末残高	1,986	0		1,986
II 指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0		0
III 正味財産期末残高	1,986	0		1,986

一般会計

平成25年度収支予算書 (案)

平成25年度4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	予算額 a	前年度予算額 b	増減 a-b	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	15,670	15,250	420	
第1号会員受取会費	12,140	11,980	160	
第2号会員受取会費	2,680	2,420	260	
第3号会員受取会費	250	250	0	
賛助会員受取会費	600	600	0	
受取負担金	645	640	5	
特別負担金	500	500	0	種鶏孵卵経営セミナー
鶏卵消費促進負担金	145	140	5	
雑収益	51	51	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	50	50	0	
他会計からの繰入額	210	900	△ 690	日本中央競馬会
種鶏安定供給情報提供等事業	210	0	210	
種鶏安定供給対策事業	0	900	△ 900	
経常収益計	16,576	16,841	△ 265	
(2) 経常費用				
事業費	9,410	9,300	110	
種鶏導入調査事業費	710	527	183	
種鶏孵卵経営対策事業	1,375	1,540	△ 165	種鶏孵卵経営セミナー他
鶏ひなふ化羽数調査事業	22	41	△ 19	
消費促進事業	296	370	△ 74	鶏卵消費促進負担金他
種鶏安定供給情報提供等事業	210	0	210	
種鶏安定供給対策事業	0	900	△ 900	
役員報酬	1,875	1,875	0	
職員給与	2,685	2,100	585	
福利厚生費	509	427	82	
旅費交通費	310	288	22	
事務所費	750	750	0	
事務機器借料	415	308	107	
消耗品費	176	115	61	
通信費	77	59	18	
管理費	8,800	8,006	794	
1) 人件費	2,968	2,913	55	
役員報酬	1,125	1,125	0	
職員給与	705	600	105	
退職給付費用	688	688	0	
臨時職員給与	100	100	0	
福利厚生費	350	400	△ 50	
2) 事務費	5,832	5,093	739	
会議費	2,300	2,000	300	
情報機能強化費	200	200	0	
政策推進費	100	100	0	
情報活動費	170	111	59	
旅費交通費	180	200	△ 20	
事務所費	750	750	0	
事務機器借料	400	300	100	
消耗品費	300	250	50	
通信費	250	250	0	
印刷費	150	50	100	
交際費	100	100	0	
公租公課	72	72	0	
雑費	300	150	150	
負担金	560	560	0	
他会計への繰出額	216	926	△ 710	
種鶏安定供給情報提供等事業	216	0	216	
種鶏安定供給対策事業	0	926	△ 926	
経常費用計	18,426	18,232	194	
当期経常増減額	△ 1,850	△ 1,391	△ 459	

科 目	予算額 a	前年度予算額 b	増減 a-b	備 考
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,850	△ 1,391	△ 459	
一般正味財産期首残高	3,836	3,964	△ 128	
一般正味財産期末残高	1,986	2,573	△ 587	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	1,986	2,573	△ 587	

種鶏安定供給情報提供等事業 特別会計

平成25年度収支予算書(案)

平成25年度4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額 a	前年度予算額 b	増減 a-b	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取補助金	3,280	0	3,280	
他会計からの繰入額	216	0	216	
経常収益計	3,496	0	3,496	
(2) 経常費用				
事業費	3,286	0	3,286	
1) 種鶏・ふ卵供給安定対策推進委員会開催等事業費	963	0	963	
事業推進委員会費	420	0	420	
事業推進費	543	0	543	
2) 鶏素ひな供給安定事業	988	0	988	
3) 鑑別競技会及び研究会開催事業	1,335	0	1,335	
企画委員会費	361	0	361	
鑑別競技会及び研究会の開催事業推進事務費	851	0	851	(公社) 畜産技術協会委託
事業推進事務費	123	0	123	
他会計への繰出額	210	0	210	
経常費用計	3,496	0	3,496	
当期経常増減額	0	0	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	0	0	0	0